

独自技術の継承とさらなる技術革新に向け 人材の有効活用を実現

同社は、昭和26年に西尾市にて創業し、「人と人のふれあいを大切にし、“和”を尊び未来に向けて飛躍する」をスローガンに、工作機械や産業機械の駆動系部品を主力製品として、切削加工、旋削加工、研削加工、組付け業務を行っている。多品種小ロット品における独自の生産体制を構築し、高精度・高品質な部品を提供しており、特に鋳鉄の加工においては材料手配から加工完成品まで一貫生産で対応できる強みを持っている。

●所在地 愛知県西尾市十郎島町下縄71

●設立 1951年

●電話/FAX 056-365-6111/056-365-6115

●資本金 5,000万円

●URL <http://www.itou-kogyo.co.jp>

●従業員数 41人

●代表者 代表取締役 伊藤 武行



多品種少量生産体制を構築して付加価値向上に貢献

同社は、生産性の高い多品種少量生産体制を構築し、売上向上や競争力強化を図っている。この生産体制は、マシニングセンタ多パレット方式と自社独自の専用治具を融合して行うものであり、多品種の部品を無人運転により日々繰り返し生産が可能のほか、1個単位での極小ロット生産も可能である。加えて、加工機の段取り工程の削減に努めることで、製品精度の向上および生産自動化による生産性の向上を実現するなど、付加価値向上に資する取組を行っている。



最新式の加工機

5軸制御マシニングセンタ導入による業務の効率化

同社は、多面加工を5軸制御マシニングセンタで行うことにより、複数必要だった工程を1つに集約している。加えて、マシニングセンタと自社独自の専用治具を融合することで、多品種の部品を夜間に無人運転にて生産することを可能にしている。その結果、より少ない従業員で、多くの受注をこなせるようになり、業務の効率化が実現された。また、顧客から受領した図面をデータ化し、CAMにてNCプログラムを作成し、マシニング加工を同時並行することで、リードタイム短縮にもつなげることができた。



5軸制御マシニングセンタ

従業員の意見を積極的に取入れ若手のモチベーションアップ

同社のコア技術となる独自の専用加工治具や特殊切削工具は、熟練の従業員が長年の経験と勘を基に独自で図面を描かずに製造していたため、技術の継承がなされない恐れがあった。そのため、この独自技術のノウハウをデータ化することで若手従業員への技術承継を進めている。また、若手従業員の意見も積極的に取り入れる仕組みを構築して、熟練工と若手従業員のモチベーションアップにつながる取組も行っている。



生き生き働く若手従業員